

2003年5月15日

会社名 株式会社 大丸  
 コード番号 8234  
 代表者名 取締役社長 奥田 務

## 2003年4月度 大丸 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	4 月 度	3 ~ 4 月 累 計
百貨店業	4.7	6.6
スーパーマーケット業	1.9	0.0
卸 売 業	5.0	6.0
その他事業	14.4	9.9
連結合計	3.5	4.5

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

### 2. 百貨店業 売上高概況

#### 1) 4月度 店舗別売上高対前年増減率(%)

	4 月 度		3 ~ 4 月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	8.1	2.9	5.8	2.4
梅田店	3.8	2.1	1.4	0.0
東京店	0.7	2.2	1.5	1.3
京都店	7.2	5.2	0.4	0.3
山科店	2.7	-	0.8	-
神戸店	0.1	1.1	1.0	1.5
新長田店	2.1	-	4.3	-
須磨店	6.2	-	6.0	-
芦屋店	7.8	-	6.5	-
札幌店	-	-	-	-
直営10店舗計	6.8	-	8.8	-
" 除く札幌店	2.8	1.7	1.8	1.0
博多大丸	2.2	-	0.5	-
下関大丸	1.3	2.3	0.2	1.2
高知大丸	3.2	0.9	0.4	0.9
今治大丸	0.6	13.9	0.6	13.0
百貨店業合計	4.7(2.6)	-	6.6(1.5)	-

(注) ・博多大丸は本年3月より長崎大丸と合併したため、対前年増減率は長崎大丸分を含む。

・直営店の入店客数合計伸率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸の5店計である。

・百貨店合計売上高の( )内数値は、除く札幌店の対前年増減率。

#### 2) 札幌店(単位:百万円、千人)

	4 月 度		3 ~ 4 月 累 計	
	合計	入店客数	合計	入店客数
実 績	3,275	2,391	7,501	5,720

(売上動向)

- ・3月のオープン以来、4月も好調に推移。30億円の目標に対して3,275百万円と9.1%オーバー。
- ・商品別では、洋菓子、レストランを中心に食品が好調。

3) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	4 月 度		3 ~ 4 月 累 計	
	合計	除く札幌店	合計	除く札幌店
紳士服・洋品	5.1	2.1	8.3	0.0
婦人服・洋品	9.4	0.7	9.2	1.1
子供服・洋品	8.2	1.6	7.3	0.2
その他の衣料品	8.2	2.1	9.5	3.4
衣料品計	8.3	0.2	8.9	0.6
身の回り品	1.3	9.1	2.4	8.7
家具	9.1	16.8	2.4	10.5
家電	18.9	18.9	3.1	3.1
その他の家庭用品	13.5	6.0	12.7	5.2
家庭用品計	4.9	2.3	7.2	0.1
食料品	12.2	1.1	16.2	2.0
食堂・喫茶	26.3	5.0	29.3	2.0
雑貨	4.3	10.2	0.6	5.9
サービス	23.3	19.7	28.6	24.5
その他	6.4	12.5	1.5	8.8
合計	6.8	2.8	8.8	1.8

3. 概況

1) 百貨店業

- ・4月の百貨店業全体の売上高は、対前年4.7%増、除く札幌店では、対前年2.6%となった。
- ・前年と比べ天候不順で、特に関西地方は雨の日が多く(大阪の雨の日は、本年9日間 前年3日間)、入店客数も低調であった。
- ・店別では、梅田店が好調であった。今年は開店20周年に当り、その記念催しが成功し、売上高、入店客数とも前年を上回った。一方で、心齋橋店及び京都店の売上高は前年を大きく下回った。心齋橋店は、前年開催した大型の店外及び店内催しを効率面の理由で本年中止したこと、また京都店は、前年の3月28日にリニューアルオープンし、翌4月がその効果で売上高が大きく伸びたことに対する反動などが大きく影響している。

2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年1.9%増であった。対前年でプラスになったのは、4年2ヶ月振りで、回復の兆しははっきりしてきた。
- ・その他事業の売上高が、対前年14.4%減となっているのは、大丸装工、大丸木工において、昨年に京都店・東京店・ピーコック等の改装関連売上があった反動による。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社 広報・IR推進部
	TEL 06-6281-9002
	FAX 06-6245-1343